



〒174-0045 東京都板橋区西台 1-27-10 電話：03-5920-1122、Fax：03-5945-4152

HP：<http://shouhaku.jp>/E-mail：info@shouhaku.jp

編集・発行 西台こども館

□□ こどもたちの成長に目をむけ □□□□□□□□□□□□□□

西台こども館の理念は「こどもたちの未来のために」です。こどもたちの普段の生活や行事などすべてにおいて、こどもたちの未来のための「今」を意識しながら支援しています。その支援していく力を向上させていくために職員研修にも力を入れています。こどもたちの生活に直接かかわる職員の技術向上研修（セカンドステップ及びコンセンスペアレンティング）をはじめ、昨年度は園内研修を19件。外部での様々な研修に90件、のべ115名の職員が参加しました。

こどもたちも各ユニットごとに今年度の目標を決めています。・大人に相談する・人のことを気づかおう・イジワルをしない・ケンカをしたらすぐに仲直りをする・時間を守る・物を大切にする・「大丈夫？」のおもいやり・あいさつをする・生活にメリハリをつけるなどさまざまです。・暴言や暴力をしない、というのもあります。

これらの目標のできていないところに目をむけるのではなく、できているところに目をむけて大いに褒め、こどもたちの成長を、喜び、感激し、感動していきたいと願っています。

園長 齋藤 学



はたらく消防の写生会
入選おめでとう！ 成増アートギャラリーに展示されました。

「幸せな生活」

中学女子



私は、小学2年生からこども館に来ました。最初は、不安と期待の気持ちがありました。でもそんな不安はすぐにほぐれていき、夜も眠れない時もあったりしたけどみんなと過ごす生活は楽しく、とても充実したものでした。同じ部屋で生活している子とはケンカをしたり、楽しくお話しをしたりとテーブルを囲んで食べたあの瞬間は幸せなのです。

今は同じ部屋の中では、最年長となり、みんなのお手本になるよう日々努力してきました。私には感謝をしたいことがたくさんあって、その中で大きく分けて3つあります。

一つ、私が最初に来たころから今までの7年間私を育ててくれた大人。たくさん傷つけたし、ぶつかったりしたけど、私の知らない所で力になってくれたり支えてくれてありがとう。

二つ目、このこども館を支えてくれる理事長さん、園長や多くの大人の人がいいつもみんなのことを考え、どうしたらみんなが過ごしやすいだろうと考えてくれていているところは誇らしく思います。ありがとう。

それから最後に、私たち子供のために栄養バランスを考えてくれている栄養士さん、それと朝早くからみんなのために作ってくれる調理さん。私は自分で料理を作ったことがないので、調理さんの努力をしらず、苦手なものが出ると「エー」とか「ヤダー」とかいつってしまうことがありました。それでも最後までおいしい愛の詰まった、栄養バランスのあるご飯を作ってくれて本当にありがとう。

私はこのこども館に入り大切なことを学びました。それは幸せということです。イライラしやすい私の性格に気づいて、大人は注意をしてくれます。その注意を素直に受け入れ、社会に出て困らないように努力していきたいと思います。

しまぞうりアート

毎年こどもたちが待ち望んでいる「島ぞうり」づくり。世界に一つだけの手作り My サンダル。ボランティアの太田さんいつもありがとうございます。



救命救急講習



職員32名が受講しました。海やプール、スポーツ等さらには日常生活での万が一に備えて、心肺蘇生とAEDの使い方を学びました。

*当園にはAEDを設置しています。緊急時には地域の皆様もご利用ください。

セカンドステップとは・・・子どもが加害者にならないためのプログラムです。

「キレない子どもを育てよう」を合言葉に、子どもが幼児期に集団の中で社会的スキルを身につけ、様々な場面で自分の感情を言葉で表現し、対人関係や問題を解決する能力と怒りや衝動をコントロールできるようなレッスンが計画されています。「セカンドステップ」を学んだ子どもは言動に攻撃性が減少し、より良い人間関係を持つようになると言われていました。

セカンドステップについて（当園でのとりくみ）

『怒ってもいい。だいじなのは、怒らないことじゃなくて、怒りに支配されないこと。』これは、『怒ろう』という絵本の一文です。

西台こども館ではセカンドステップを取り入れています。セカンドステップとはこどもの衝動的・攻撃的な行動を和らげて、社会生活を円滑に送れることを目標にした教育プログラムです。その中で私は<怒りの取り扱い>について子どもたちと一緒に学びました。どのような時に怒りたくなるのか、怒るとどうなるのか、意見を出し合いながらみんなで考えました。意地悪されると怒りたくなる、怒ると物を投げたくなる、叫びたくなる、など実に様々でした。大事なのは、怒らないようにすることではなくて、まず落ち着いて、怒った気持ちを誰かに話すことだと学びました。

これからも、子どもたちがセカンドステップで学んだ事を実践できるよう支援するとともに、子どもたちの気持ちに耳を傾けられる大人でありたいと思います。（吉江）

お知らせ① 平成 27 年 9 月 23 日（水）秋分の日 11:00～14:00 西台こども館まつり

今年も「西台こども館まつり」を開催いたします。11時～恒例の吉祥天鳳みのり太鼓の演奏。午後にはネリマックスもやってきます。わたがし、焼きそばなどの出店やゲームコーナーもあります。皆様のご来園をお待ちしております。

お知らせ② 平成 27 年 12 月 17 日（木）10:00～11:30 地域公開講座

講演会：ネット・携帯安全講座（ネット・ケータイのトラブル最新事情と子どもを守るためのファミリーeルール）

講師：ファミリーeルール専門講師

場所：西台こども館 *参加ご希望の方は電話でお申込みください。連絡先：03-5920-1122 津田・齋藤

新に入職した職員2名をご紹介します

皆さん、初めまして。4月からフリーとして働いている川合紗英子です。各ユニットに回る事が出来るので、いろんな子どもたちと遊べる事を楽しみにしています。虫取りは苦手ですが、料理は大好きなので、皆と美味しいおやつ作りに挑戦したいと思っています。これからよろしくお願ひします。



この度4月から入職いたしました、紺野涼香と申します。かしわユニットで子どもたちと元気いっぱい楽しく過ごしています。大学生の時に当園で実習やボランティアをし、児童養護で働きたいと強く思うようになり、今に至ります。子どもたちが安心して居場所を作れる職員になりたいです。よろしくお願ひします。



行事の紹介

6月13日ナイトウォーク

中高生を中心にしてナイトウォークを実施しました。スカイツリーのある押上駅から西台こども館まで、夕方から夜の時間を利用して約21キロ歩きます。今回は小学生男女2名と中高生男子4名の参加でしたが全員5時間かけて完歩することができました。初夏の草花を横目にみながら、時折道路を飛ばすサイクリング自転車を気にしながら歩きます。苦しい想いと行動を共有することで本音を語り出すこどもがいることを知ります。「ああ、こどもはこんなことを思っているんだ」と大人のこちらが再発見することがあるのです。「将来の夢」だったり、「進学することの心配」だったりを語ります。日ごろの集団生活ではみられない一面が表現され「もっとなんとかしなくては」と気づかされる気がします。今回初めて参加した小学女子は半分の距離を想定して救護車利用を考えていたのですが「私、どうしても歩く、夜、歩きたい」と強い希望を述べました。私たちは彼女の希望をどの様にあつかったらよいだろうか悩みました。頑張りたいという強い希望を後押しすることで彼女の達成感を持たせることを選びました。無理をしない、しかし、希望を叶えたい、という職員の姿勢がゴールする事につながることができました。ナイトウォークは以前にも増して意味のある行事に仕上がったと思っています。(木村)



7月27日 江戸っ子杯ドッジボール大会

今回のドッジボールは、練習時間が少ない中でおこないました。全く練習時間が取れない中、限られた時間の中でパスを回したり、戦術を確認したり、皆で協力をしながら大会に臨みました。今回、事前に皆で集まり、ドッジボール大会にチームとして参加するに当たっての約束と目標を決めました。まずは、前回に引き続き①「キャプテンが声を掛けたらサッと並ぶ。ダラダラしない事。(キャプテンの言う事を聞く)」②「全力で頑張る事」を約束としました。そして目標は①「皆でまとまって1勝しよう」②「ドンマイの気持ちを大切にすること」を目標としました。数少ない練習の中で最初はまとまりはありませんでしたが、その都度練習をストップさせ、約束と目標を皆で確認していきました。次第に、頑張っってチームで1勝すると言う気持ちが皆に出来始め、まとまりも出てきました。大会2日前の最後の練習でも、皆でどうしたら「勝」に行けるかを話し合い皆で確認をして大会当日を迎えました。

7月27日(月)東京体育館でドッジボール大会が開かれました。1回戦目は、伊豆長岡学園と2回戦目は品川景德学園と試合をしました。試合前に再度キャプテンを中心に戦術を考え、約束と目標も確認し皆で共有してから試合に臨みました。皆それぞれボールを頑張っって取ったり、当てられても外野でワンタッチを取ったりと頑張っっていましたが、結局2試合とも負けてしまいました。負けてしまいましたが、皆それぞれに頑張っり、約束と目標もしっかり意識して大会に臨めたことは子どもたちの自身にもなったのではないのでしょうか？私はそう思っています。1勝も出来ずに悔しい思いをした子ども達もいましたが、この悔しさを次の大会に活かしていける事を期待しています。(谷元)



幼児キャンプ：7月28～29日

幼児キャンプは一泊二日で埼玉の小川げんきプラザへ行ってきました。一日目にBBQと花火をしました。猛暑のBBQは大変でしたが、こども達は嬉しそうにパクパク食べていました。花火の際には火種の近くを持ってしまう子が多く、火傷をさせないように必死でした。全員無傷で就寝時間を迎えられるて安心しました。

二日目にザリガニ釣りをしてプラネタリウムを見ました。ザリガニ釣りでは誰も池に落ちず、マムシ注意の看板が異様にあるため心配していたマムシも出ず、楽しく釣れました。プラネタリウムはご厚意で映像3本を全てこども向けのものにしていただけたので、集中して見る事ができていました。日常業務の間を縫ってキャンプの企画や準備をするのは骨が折れましたが、事故も怪我もなく夏の思い出を作ることができてよかったです。(松田)



小学低学年 興津臨海：8月1～3日

青い空、白い雲、真っ赤な太陽！と言いたいところでしたが、十数年に1度という濃い霧の発生のために毎年恒例で行われている早朝の蟹取りが出来ませんでした。2日目は霧の状況もよくなり蟹取りが出来、こども達は大喜びでした。

海水浴場でも霧が出て遊泳禁止時間もありましたが、砂遊びなどを満喫していました。海水浴では「おもいつき」のボランティアスタッフの方々も参加していただき、水を掛け合い、浮き輪で遊び、倒したり倒されたりしながら、こどもも大人も楽しみました。キャンプファイヤーの出し物では今をときめくニンニンジャーの歌と踊りをこどもたち11名と職員5名で披露し、大喝采を浴びて褒められました。次の日に「あの踊りの走るところやって」と、リクエストがあるほど好評でした。こどもも大人も大いにはしゃぎ、楽しみ、満喫した興津(千葉県)の海でした。(大貫)



中学生男子キャンプ：8月6～8日

8月6日から8日まで千葉県勝浦へキャンプに行ってきました。1日目は海を小舟で渡る仁右衛門島。鉄腕DASHファンの子ども達は「DASH島みたい！」と心を踊らせて、シュノーケリングや魚捕りを楽しみました。2日目は亀山湖の近くで川遊びと勝浦港で夜釣り。川で泳いだりアジを釣ったり、こどもも大人もへトへトになるまで体を動かして遊びました。最終日は陶芸を体験しました。普段ワイワイと賑やかなこども達ですが、お茶碗やら素敵な器等、真剣な眼差しで作っていました。「楽しかった!」「来年は4泊5日で行きたいなあ」と笑顔一杯のこども達でした。良い思い出にしてもらえたらと願っております。(太田)



小学高学年キャンプ：8月17～19日

今年のキャンプは埼玉県秩父にある「両神山麓キャンプ場」へ行ってきました。今年最大の目玉は「テント泊」。今までバンガローや寝袋を使用したこどもはいましたが、テントは初めてというこどもばかり。どうなるかなと心配もしましたが、皆たくましく、初日から平気な顔でテント泊を楽しんでいました。

2日目のマスのつかみ取りは特に楽しかったようで、全員マスを捕まえることができました。マスの内臓を抜く際には「かわいそう」などの声もありましたが、せつかくの命を無駄にしないようにと、魚が苦手なこどももきれいに食べていた姿が印象的です。来年もぜひ、テントキャンプを子どもと一緒に楽しみたいと思います。(西松)



中学生女子 夏休みの外出

日頃は部活や勉強で忙しく、職員と個別の時間もなかなか取れない中学生。今回は人数が少ないこともあったため、子ども達希望の大きなプールへ行きました。千葉県最大級ということもあり、プールへ着くと大興奮！天気にも恵まれ、流れるプールや波のプール・ウォータースライダーを楽しみました。ウォータースライダーでは怖がりながらも滑れた子、上まで行ったけど怖くて滑れなかった子、それぞれが良い体験となったのではと思います。たくさん遊び、夕食も子ども達の希望するものを食べられ大満足！日帰りという短い外出でしたが、こどもも職員もリフレッシュ出来た一日でした！（鈴木）

幼稚園年少さん3名と上野動物園に日帰りでお出かけ

天候は少し曇りが見られましたが次第に晴れて、とても暑く時折パラパラと降る雨が気持ちよく過ごしやすかったです。夏の暑さで動物たちはグッタリしている姿が多かったですが、こども達は迫力のある大きなゾウさんにホッキョクグマ、アザラシの水中遊泳を楽しんで見ていました。ふれあい体験ではネズミを手のひらに乗せて「くすぐったーい！」とはしゃぎ、初めてブタの背中を恐る恐る“よしよし”とさすった感想は…「かたーい！」

「とげとげ」。好奇心旺盛のこども達、頑張りました。これだけ楽しんで帰りは歩けるのか…と心配していましたがしっかりと自分の足で園までたどり着き、大きな声で「ただいまー！」と挨拶。ご飯やおやつも自分の好きな物を沢山食べて、大満足の日でした。

(山野)



ありがとうございました (平成27年3月～平成27年8月)



《寄付金》

(株)ヒト・コミュニケーションズ、山田登、板橋区社会福祉協議会、駒林素行

《寄贈品》

伊藤康治、まつば園、湯本善之、湯本泰子、立澤岫子、コンサートホール成増、(有)ダスカジャパンクアウテモック、清野美抄子、(株)サンドラッグ、(株)エスケーサービス、ムーンバット(株)、(株)チュチュアンナ、安東隆司、東京都蒔蒨共同組合、NPO法人ハッピーステップ、セカンドハーベストジャパン、竹内勇、(株)坂本商会、(株)ウイング、原木祥行、原木美香子、山口邦代、ぶさいく農園、三菱UFJ不動産販売(株)鈴木祐二、三菱UFJ信託銀行、藤田奈保子

《招待》

個人タクシー協同組合板橋第一支部、一般社団法人ACSY、劇団飛行船、株式会社ポリショイサーカス、千代田ビル管財株式会社、

(順不同・敬称略)

● 西台こども館児童在籍状況(平成27年8月1日) 定員40名 現員40名

	3 未	年 少	年 中	年 長	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	計
男	0	2	1	3	2	4	3	2	0	1	0	2	1	1	1	2	25
女	1	1	1	1	2	0	2	0	1	2	0	2	2	0	0	0	15
計	1	3	2	4	4	4	5	2	1	3	0	4	3	1	1	2	40

西台こども館 職員一覧(平成27年8月1日現在)

【園長】齋藤 【事務長】竹田 【事務】粕谷

【統括主任】津田(自立支援コーディネーター)

【FSW】森脇 【心理】田中



【ユニット担当】

「かしわ」石川・谷元・紺野

「まつ」西松・大貫・飯尾・松田

「もみじ」吉江・山野・渡部

「いちろう」堀欠・富田・小松

「けやき(グループホーム)」太田・高橋・越

【フリー】鈴木・松山・野呂・石井・川合

【個別対応】木村 【栄養士】丸山 【調理】田島・高山・水殿

【専門機能強化】立澤(医師)、田村・内藤(治療指導員)

【アルバイト】山口・多田・辻沢 (嘱託医)大山

退職した方々 平成26年度に2名の方が退職されました。

川口さんは5年、一ノ瀬さんは3年間子どもたちと一緒に過ごしていただきました。お二人のますますのご活躍をお祈りしております。

避難場所について

西台こども館では毎月災害を想定した避難訓練を行っています。避難が必要な災害がおきた場合には園の敷地内に一時避難をします。その後必要に応じて板橋区指定の避難場所である志村第五小学校(東京都板橋区西台3丁目38番23号)に避難します。志村第五小学校に被害が及んだ場合には広域避難場所(都営三田線高島平駅南側から都立赤塚公園付近)に避難します。

●被害状況及び避難場所等につきましては災害伝言ダイヤル(171→03-5920-1122)及びホームページで速やかにご報告いたします。



平成26年度 決算報告

事業活動収支計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

西台こども館

勘定科目		決算額	
事業外収支の部	収 入	措置費収入	188,326,139
		補助金収入	72,995,387
		寄付金収入	3,513,338
		雑収入	10,220,927
		国庫補助金等特別積立金取崩額	5,608,070
		事業活動収入計(1)	274,960,921
	支 出	人件費支出	178,988,431
		事務費支出	19,238,485
		事業費支出	43,196,382
		減価償却費	13,320,180
		引当金繰入	1,937,520
		事業活動支出計(2)	269,381,208
	事業活動収支差額(3) = (1) - (2)		15,579,713
	収 入	受取利息配当金収入	35,075
事業活動外収入計(4)		35,075	
支 出	経理区分間繰入金支出	0	
	事業活動外支出計(5)	0	
事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)		35,075	
経常収支差額(7) = (3) + (6)		15,615,698	
特別収支の部	収 入	特別収入計(8)	835,000
	支 出	特別支出計(9)	654,000
	特別収支差額(10) = (8) - (9)		180,000
当期活動収支差額(11) = (7) + (10)		15,795,698	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)		△134,602,483
	当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)		△118,806,385
	その他の積立金積立額(14)		40,000,000
	次期繰越活動収支差額(15) = (13) - (14)		△158,806,385

編集後記: 今年の夏はまさに猛暑。幼児さんを中心に、毎日のようにビニールプールで水遊び。はじめは水を怖がり、不安そうにしていたYくん(3歳)も、夏の終わりにはビニールプールのなかから笑顔で大人に水をかけてくるほどの成長ぶり。行事やおでかけ、キャンプに部活、そして宿題! はこどもたちを大きく成長させてくれます。感謝(齋藤)